

令和2年度 第2回 会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 要旨

日時：令和3年1月21日（木）15：00～17：00

場所：生涯学習総合センター 研修室5・6

1 開会（司会：観光商工部商工課 田沼）

2 協議

- ・青木准教授が座長となり進行
- ・葵ゼミの発表の方法やスケジュールについて事務局より説明を行なった後、直近の話題等について情報交換を行なった。
- ・16時頃より葵ゼミによる発表を行ない、意見交換を行なった。

（発言要旨）

【直近の状況について】

（新型コロナウイルス感染症の影響）※（以下 新型コロナウイルス感染症をコロナと表記）

- ・年末年始に予定していたイベントは全て中止とした。
- ・市内でも感染者が出ている中で、いつ誰が陽性となってもおかしくない状況だと感じる。
- ・福島県による時間短縮要請となる飲食店等への支援金について、事業者への周知と対応に努めていく。
- ・事業者からの相談件数については、10月以降減少してきており、融資面の相談なども減少傾向にあると聞く。
- ・国給付金や、県支援金の申請相談などが少しずつ出ているので、対応していく。
- ・県緊急対策により、時短等が要請されていない業種も、今回の外出自粛などにより、経営状況は厳しくなる可能性がある。
- ・今年度は、実質無利子となる融資制度があり、多くの方が活用したが、実質無利子期間が終了した後の経営状況も見越して、相談に乗っていく必要がある。
- ・ある商店街では、国からの補助金を活用し、感染予防対策を組合員に周知したり、消毒液などの設置に活用したりして、商店街として対策に取り組んだ。
- ・コロナの中でも前向きに活動している地域もあり、国などの補助を活用して様々なことに取り組んでいる。
- ・絵ろうそくまつりが予定されており、県のイベント開催のガイドライン上、開催できる予定。今回は葵高校と連携し、ろうそくに被せる装飾品を作成している。
- ・4月以降のイベントで、大規模なものは開催が危ぶまれる。
- ・昨年実施予定だったフェスについて、今年に延長しているものもあるが、開催されるかは微妙なところ。
- ・イベントを中止した場合に、国から補助金が交付される予定なので、主催者側の開催に関する判断も変わってくると思う。
- ・最近、市内飲食店への人出は減少傾向のようだ。市内で陽性者が出て以降、減少傾向にある。
- ・来年度は東日本大震災から10年を迎える年として、記念事業を予定していたが、オンラインでの開催となった。
- ・一堂に会することが難しい場合でも、テイクアウトを活用するなど、飲食店を応援できるよう取り組んでいる。

- ・会員にアンケートを実施し、コロナの影響や、困っていることを共有している。
- ・市内での陽性者は出ており、イベントを実施する際にも、不安の声も聞かれる。
- ・経済の活性化は重要なことなので、感染予防対策をしっかりと取りながら、取り組んでいきたい。
- ・4月からの東北デスティネーションキャンペーン（会津若松に関する部分）に、協力し進めてきていたが、現在は、いったん止まっている状況。
- ・学生の就職状況については、今期はオンラインでの求人活動を行った企業へ就職するケースが多く、例年と比較すると首都圏への流出が多いように感じた。

【葵ゼミからの発表（概要）と意見交換】

①コロナ禍でのスタンプラリーについて、有効な方法とは・・・

- ・スタンプラリー = 街中を歩くことになる ⇒ 気分転換になるのではないか という着眼点が素晴らしい。
- ・スタンプラリーを実施する側からすると、お客様をお店に呼びたいという思いがある。どんな制度にするとお客様を呼ぶことにつながるかという点も考えてもらえるとなお良い。
- ・地域（商店街など）が活気づくには、お店の人と利用者との交流が必要なのではないかと思う。
- ・スタンプラリーなどについて、電子化が検討されていく中で、人と人との交流が図られる仕組みもあるとありがたい。

②飲食店の活性化のためにはどうしたら良いか・・・

- ・まずは飲食店の PR が必要という観点から、ホテルのフロントに飲食店の情報を掲示してもらうという案は、とても良い方法だと思う。
- ・さらに、テイクアウトの商品を増やしていく、PR していくというのも、良い方法だと思うが、そのお店の特徴や、利用者の特性（世帯の種類や年齢など）により効果が違ってくると思うので、さらに分析してみたい。

③コロナの影響により売上が減少している小売店の活性化策を考える・・・

- ・キャッシュレス化は、今回のコロナの影響で進んでいく可能性があり、接触を減らすという観点からも、キャッシュレスの利用を進めていくという案は良いと思う。
- ・さらに、キャッシュレス決済を利用したポイント付与制度は、消費税増税の際に国等により実施されたこともあり、プラスアルファの取組を考えられるとなお良いのではないかと。
- ・ICT 化は、今後とても大切な視点だと思うので、あえてアナログを使うという視点も残っていれば、さらに面白いものになるのではないかと。

④会津若松市に観光客を取り戻すにはどうしたら良いか・・・

- ・感染予防対策を行なっていることを PR することは、コロナ禍において安心して観光してもらうために大事な方策の1つだと思う。
- ・街をあげて対策をしていることを PR できれば、より効果的だと考える。
- ・会津に観光に来る人達の中には、1度観光に来たら、後は来ないという意見もあるようだ。会津に来るお客様が何を目的に来ているのかというところまで視点を広げてもらえると、なお良いも

のになると思う。

⑤観光産業が主要な会津若松市の経済を活性化させるにはどうしたら良いか・・・

- ・他県の成功事例から考えてみるのは、とても良いと思う。
- ・電子クーポンで実施した場合と紙の商品券で実施した場合のメリット・デメリットも検討してもらえとなお良いと思う。
- ・地域限定で使える仮想通貨なども様々なところで取り組んでいたが、やはりお客様をそこまでどうやって誘導していくかが重要だと考える。誘導する方法も含めて考えてもらえるとより良いものになると思う。

令和2年度
会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 コアメンバー

令和3年1月現在

所属・企業名	役職	氏名（敬称略）	備考	第2回 出欠
会津大学短期大学部 産業情報学科	准教授	青木 孝弘		出
松浦商事 株式会社	代表取締役社長	松浦 健典	会津若松商工会議所 推薦	欠
株式会社 三義漆器店	代表取締役	曾根 佳弘	県中小企業家同友会 会津地区 推薦	出
		松崎 陽一	県中小企業家同友会 会津地区 理事	欠
TAKLAM	代表	遠藤 和輝	公益財団法人 会津青年会議所 推薦	出
会津若松商工会議所	企業振興課 課長補佐	築取 幸弘		出
あいづ商工会	事務局長	福島 正博		出
福島県中小企業団体中央会 会津事務所	所長	堀 和弘		出
会津信用金庫	本店営業部長	渡部 勝敏		欠
会津商工信用組合	融資部・地域支援課 次長	藤巻 正義		欠
会津若松市観光商工部商工課	課長	長谷川 陽一		出

葵ゼミの概要と本日のスケジュールについて

【目的】

身の回りの課題を見つけ、その課題を探究し、最終的にはレポートという形で発表することで、主体性や思考力・判断力・表現力を育むことを目的としている。

【これまでの取組】

- 4～6月 自分の興味関心があることを探り、整理する。
- 7月17日 課題探究活動の簡易版を実際に体験する。
- 9月 出前講座を受講したり、文献等を調べたりしながら、自分の興味・関心を具体化する。
- 10月 所属ゼミを決定し、外部支援員や教員との相談や、学年行事としての施設訪問などを通して探究計画書を作成する。

【ゼミ概要】

政治・経済分野『市役所の方々と一緒にコロナ禍における経済活性化策を考えるプロジェクト』

【当該ゼミのこれまでの取組】

- 10月27日 市役所職員による、コロナの影響と、現在の国や県、市の施策の講義
- 11月6日 自主学习による探究
- 11月20日 市内店舗（酒類を伴う飲食店）へ訪問し、実態を聞き取り調査

【本日のスケジュール】

16：00 生徒到着

16：05～16：55 発表

- 生徒より自分の設定した課題、これまでの探究、これからの取組や、確認していきべき点などを発表してもらいます。
 - ・発表者 5名（予定）
 - ・1人あたり10分間を持ち時間とします。
 - ・生徒1人の発表につき、事務局より指名させていただきますので、意見や感想をお願いします
- ※生徒の下校時間の都合上17時には終了といたします。

【その他】

発表以外の生徒が見学に来る場合があります。また、葵高校やゼミに関わる方が見学に来る場合があります。